

膝栗毛文芸集成

第Ⅰ期・全十二卷
(十返舎一九作品)

▼編集・解題
中村正明

國學院大學講師

滑稽本、合巻、
雑俳・狂歌、絵本、歌謡など、
「膝栗毛もの」の文学作品を
現存する最良の底本で集成。



にまゆ
YUMANI
SHOBOU

いつのことだったか、ある古典文学に関する調査において、「あなたの知っている古典文學作品の登場人物を書いて下さい」という設問があり、その回答は「光源氏」と「弥次郎兵衛・喜多八」の二つが群を抜いて多かつたという。光源氏と並んで広く名の知られた弥次喜多は、十返舎一九が『道中膝栗毛』で産み出した主人公の二人である。

『道中膝栗毛』は、享和一（一八〇二）年の刊行当初から非常に人気を博し、何十年にもわたって続編が書き継がれて大流行した滑稽本である。そればかりか、メディアミックスも盛んに行なわれ、合巻化されたり、一枚摺の錦絵化、歌舞伎化や落語・講談の種にもなった。明治以降になると、映画、ドラマ、漫画など様々なメディアでも描かれるようになつていった。現代においても弥次喜多の知名度は高いと言えよう。



そうした膝栗毛人気に乘じて、『道中膝栗毛』刊行と同時代においても、非常に多くの影響作・亜流作が産み出されたことは案外知られていない。それら、所謂「膝栗毛もの」は、一九自身の作品を除いてその全貌はほとんど解明されておらず、どのような作品がどれほどあつたか全く手つかずのままなのである。

刊行によせて 中村正明

本企画では一九作品を手始めとして、数多い「膝栗毛もの」の文学作品を現存する最良の底本で紹介していく。それは、滑稽本に限らず、合巻や雑俳・狂歌、絵本、歌謡に及ぶ。かかる「膝栗毛もの」文芸の通史的な集成によって、それを享受した読者層—江戸庶民という新興の文学読者たち—の興味嗜好が判明していくわけであり、文化遺産としても珍重されるものとなるであろう。



第一期・第一回配本 全七巻 二〇一〇年五月刊

◆九 滑稽 江の島土産



『滑稽三人生酔』（國學院大學図書館所蔵）滑稽本稿本。二巻一冊。十返舎一九自筆草稿である。神田八丁堀の長屋に住む佐次郎兵衛のもとに集つた三人の男たちが酔つて騒いだ挙句、旅に出かける様子が描かれる。『道中膝栗毛』発端や『滑稽臍栗毛』同様の長屋ものでありつつ、膝栗毛ものへと発展していくような終結を見せるが、未完。

道中膝栗毛（二）～（三）

◆一〇三 南総 旅眼石

『旅眼石』（国立国会図書館所蔵）滑稽本。一冊。享和二年刊。改題本「馬士の歌囊」（文化四年刊）。『膝栗毛』に先駆けて刊行された旅行記で、先年、従僕太吉を連れて下総を旅した一九自身の体験が可笑しみを交えて描かれる。その体验が、後の『膝栗毛』の発想や趣向にも活かされることになる、注目すべき先駆作である。

『道中膝栗毛』（岐阜大学図書館所蔵）（含発端）滑稽本。全八編十七冊・発端一冊。村田屋治郎兵衛ほか。享和二～文政六年刊・発端は文化十一年刊。神田八丁堀の長屋に住む

◆十二 滑稽旅賀羅寿 講語堀之内詣

◆後編 雜司ケ谷紀行



『説話堀之内詣』（東洋大学古典文庫旧蔵書）滑稽本。全二冊。角丸屋甚助・村田屋治郎兵衛ほか。文化十三年刊。神

（蓬左文庫尾崎久弥コレクション所蔵）滑稽本。全三巻五冊。勝川春亭画（初・三編）、喜多川月麿画（二編）。村田屋治郎

弥次郎兵衛と喜多八が、伊勢参りと称して江戸から逃げる。ようすに東海道の旅に出る。東海道から伊勢参詣を経て京・大坂に至る道中の滑稽を描く、日本古典文学史上の人気作品である。



◆四一七◆

続膝栗毛 (一) ~ (四)

(都立中央図書館加賀文庫所蔵) (含二編追加) 滑稽本。全

十二編二十五冊・一編追加。喜多川月麿ほか画。村田屋治郎兵衛ほか。文化七~文政五年刊。弥次喜多の旅のその後を描く続編。大坂から、金比羅参詣、宮島参詣を経て、江戸への帰途に善光寺を詣で、草津温泉を経由して江戸へと戻る。

◆八◆

続々膝栗毛

続々膝栗毛

(東洋大学図書館所蔵 古典文庫旧蔵書) 滑稽本。全三編六冊。(三編は二世一九作)。美濃屋甚三郎。天保二~六年刊。

初・二編は、江戸に戻った弥次喜多の神田八丁堀長屋での生活の滑稽を描く。二編を執筆してまもなく一九が病死したため、三編は二世一九の手によって継承された。その三編は鹿島語に旅立つ弥次喜多が描かれるが、刊行は途絶して未完のまま終わった。

兵衛・鶴屋金助。文化六~七年刊。当時江戸庶民に人気のあった江の島参詣を題材に採り、ね助と頼太郎という二人の主人公を軸に、道筋や参詣の庶民の行動・風俗を描く作品。

品。

六あみだ詣

串戲 教諭

(東洋大学図書館所蔵 古典文庫旧蔵書) 滑稽本。全三卷五冊。喜多川月麿画。中村屋幸蔵。文化八~十年刊。本作も、当時の江戸庶民に流行していた府内近郊の六阿弥陀(豊嶋村西福寺・下沼田村応味寺・西ヶ原村無量寺・田畠村与楽寺・下谷長福寺・亀井戸常光寺)参詣に取材した作品。場

末の平長屋の大屋と、その長屋住人の一行が巡る滑稽な参詣の様子を描く。

◆十一◆

大師めぐり

滑利 論言

滑稽臍栗毛

秋葉山 鳳来寺



滑稽三人坐醉

大師めぐり

(関西大学総合図書館所蔵) 滑稽本。全三冊。関玉・玉東画。平野屋宗七・河内屋太助・河内屋嘉七。文化九年刊。

大坂にある弘法大師の靈場二十一ヶ所参詣(大师めぐり)の様子を描く作品。特定の主人公を設けず、大师めぐりをする様々な人々の人情・風俗が滑稽に綴られていく。

「滑稽臍栗毛」(蓬左文庫尾崎久弥コレクション所蔵) 滑稽本。全一冊。画工不明。村田屋治郎兵衛・鶴屋金助。文化十一年刊。本作は膝栗毛ものではないが、「道中膝栗毛」発端『続々膝栗毛』等にも通じる長屋を舞台にした住民たちの滑稽譚である。稀覯書であり、外題も「膝栗毛」の流行に沿った影響作であるため、ここに収録する。

「九之紀行」(蓬左文庫尾崎久弥コレクション所蔵) 滑稽本。全一冊。十返舎一九画。鶴屋金助・松屋善兵衛・河内屋太助。文化十二年刊。作者の一九自身が主人公となつて、供の清治とともに、鳳来寺から秋葉山へと経巡る旅の滑稽を描いている。

「雜司ヶ谷記行」(東洋大学古典文庫旧蔵書) 滑稽本。全二冊。葛飾北斎画。伊藤与兵衛。文政四年刊。前書「誹語堀之内詣」の後編で、佐次兵衛が雜司ヶ谷の鬼子母神明寺を参詣する滑稽が描かれる。後年、「堀之内詣」と「雜司ヶ谷記行」を併せて改題本「千社の多和武連」も刊行された。





式磨五

道中膝栗毛發端

東都 十返舎一九編

武藏野の尾花がま多小かる白雲と浦ノ江戸。浦の江戸を鳴門川岸の夕暮ゆふぐれるとして仲の所乃夕景ゆふけいと。もとざる時のやく歌平。今か井の内小萬と汲くみむ。多道の水景みずけいと。土參造の白壁通しらかくつう。香の桶あおけ。以よは破き。金龜かなめの金所まで也至いた。す。あたに戸の熱島。化國の國こくよりの大。道不全銀きん銀ぎんも。

膝栗毛文芸集成

第一期・全十二卷
(十返舎一九作品)

▼編集・解題 中村正明 ● 汎定価226,800円(本体216,000円)

ISBN978-4-8433-3354-9 C3393

第一回配本 全七巻 110-110年五四刊

汎定価1-350、450円(本体1-250、000円)

ISBN978-4-8433-3355-6 C3393

◆一◆ 定価220,050円(本体210,000円)
付・解題 ISBN978-4-8433-3357-0

南總
紀行
旅眼石

道中膝栗毛(一) 発端・初編・三編

◆二◆ 定価211,000円(本体20,000円)
付・解題 ISBN978-4-8433-3358-7

道中膝栗毛(二) 四編・六編

◆三◆ 定価1-3,650円(本体1-3,000円)
付・解題 ISBN978-4-8433-3359-4

道中膝栗毛(三) 七編・八編

◆四◆ 定価24,150円(本体23,000円)
付・解題 ISBN978-4-8433-3360-0

続膝栗毛(一) 初編・三編

◆五◆ 定価22,050円(本体21,000円)
付・解題 ISBN978-4-8433-3361-7

続膝栗毛(二) 四編・七編

◆六◆ 定価22,050円(本体21,000円)
付・解題 ISBN978-4-8433-3362-4

続膝栗毛(三) 八編・十編

◆七◆ 定価1-7,850円(本体1-7,000円)
付・解題 ISBN978-4-8433-3363-1

膝栗毛文芸集成

第一期・全十二卷
(十返舎一九作品)

第二回配本 全五巻 110-110年秋刊行

汎定価91,350円(本体87,000円)

ISBN978-4-8433-3356-3 C3393

◆八◆ 定価14,700円(本体14,000円)
付・解題 ISBN978-4-8433-3364-8

続々膝栗毛

◆九◆ 定価1-5,750円(本体1-5,000円)
付・解題 ISBN978-4-8433-3365-5

◆十◆ 定価1-4,700円(本体1-4,000円)
付・解題 ISBN978-4-8433-3366-2

稽滑江の島土産

◆十一◆ 定価25,800円(本体24,000円)
付・解題 ISBN978-4-8433-3367-9

滑利大師めぐり
諭言

◆十二◆ 定価25,800円(本体24,000円)
付・解題 ISBN978-4-8433-3368-6

滑稽贋栗毛

秋葉山
鳳葉寺
滑利
大師めぐり
諭言

滑稽三人生酔

◆十三◆ 定価21,000円(本体20,000円)
付・解題 ISBN978-4-8433-3369-7

誹語堀之内詣

後編
堀之内詣
雜司ケ谷紀行

前編
奥州道中之記

發端
舊觀帖

滑稽旅賀羅寿

関連企画
(中面も御覧下さい)

此花／風俗図説

全3巻 [解説]川添 裕 ●定価49,770円(本体47,400円)

朝倉無声主宰の江戸風俗雑誌『此花』『風俗図説』を全冊(大正元~5年・全35冊)を復刻。江戸時代の職業・名所起源・遊郭・服飾などの風俗研究や、文学・美術などの論考を、豊富な浮世絵図版とともに収録。解説・総目次・索引を付す。

天皇皇族実録 第I期・近世篇

全37巻 [底本所蔵]宮内庁書陵部 [監修]藤井讓治・吉岡眞之
宮内省図書寮が総力を挙げて編纂した、戦前期最高水準の天皇皇族
実録。特に『大日本史料』の編纂が進まない現在、明正天皇から、
孝明天皇までの詳細な事蹟は、唯一の本格的天皇・皇族研究史料と
いっても過言ではない。 ●定価718,725円(本体684,500円)

新吉原画報・劇場図会

[監修]梶田満文

明治31年に雑誌『世事画報』の臨時増刊号として発行されたもの。
豊富な絵と詳細な記述により、吉原と劇場について、さまざまな情報
を与えてくれる好文献。この2冊を、カラー口絵をそのままに
再現、解説と事項索引等を付して、復刻。

古典文学翻刻集成

[監修]加藤定彦 全7巻●汎定価105,000円(本体100,000円)

国文学史上において重要かつ貴重と目され、学術雑誌上で翻刻・紹介
されながら、単行本に未収録の古典文学作品をジャンル別に集成。
いずれも第一線の研究者による、正確な翻字に詳細な解説を付す。
最も信頼できるテキストを収録した日本古典文学の新シリーズ。

ゆまに書房

〒101-0047 東京都千代田区内神田2-7-6 TEL.03(5296)0491 FAX.03(5296)0493 http://www.yumani.co.jp/

ゆまに書房 Tel.03(5296)0491/Fax.03(5296)0493

年月日

※毎度ありがとうございます。お申し込みはぜひ当店へ。

膝栗毛文芸集成 第I期 全12巻

取扱店
セト

お名前

ご住所

TEL ()

10.07/01.7000.H